

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和6年10月24日(2024.10.24)

【国際公開番号】WO2023/157718
【出願番号】特願2024-501311(P2024-501311)
【国際特許分類】
A 6 1 N 2/04(2006.01)
【F I】
A 6 1 N 2/04

10

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月22日(2024.7.22)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

20

インレットコネクタが接続されるためのインレットを有する装置本体を備えた医療機器であって、

前記インレットに設けられたインレット開口部と前記装置本体に設けられたインレットコネクタ接続用ケーシング開口部との間に介在し、前記インレットコネクタの形状に前記インレットが追従できるように形成されたガasketを有していることを特徴とする医療機器。

【請求項2】

前記ガasketは、前記インレットコネクタが前記インレットに圧接することにより前記インレットコネクタの外周部端面と密嵌するガasket第1シール部と、

前記ガasketの開口部内壁に設けられ、前記インレットコネクタが前記インレットに圧接することにより前記インレットコネクタの内周部側面と密嵌するガasket第2シール部と、を備えていることを特徴とする請求項1に記載の医療機器。

30

【請求項3】

前記ガasket第2シール部は、前記ガasketの開口部内壁に対向して複数設けられていることを特徴とする請求項2に記載の医療機器。

【請求項4】

防水等級(IPX)が1以上であること、静電気放電試験に基づいて静電気が放電された後であっても静電放電耐性を備えることのいずれか一方または両方であることを特徴とする請求項1～3いずれか1項に記載の医療機器。

【請求項5】

前記静電放電耐性が±15kV以上の気中静電放電耐性であることを特徴とする請求項4に記載の医療機器。

40

【請求項6】

前記装置本体と別体に形成されたプローブをさらに備え、生体刺激用信号波を生成し、その生体刺激用信号波でコイルに発生させた患部刺激用の磁界を生体の患部に照射して患部および患部周辺の細胞および神経を刺激することで患部の疼痛を治療することを特徴とする請求項1～3いずれか1項に記載の医療機器。

【請求項7】

前記装置本体と別体に形成されたプローブをさらに備え、生体刺激用信号波を生成し、その生体刺激用信号波でコイルに発生させた患部刺激用の磁界を生体の患部に照射して患部

50

および患部周辺の細胞および神経を刺激することで患部の疼痛を治療することを特徴とする請求項 4 に記載の医療機器。

10

20

30

40

50